



江戸時代のはじめは、海辺にアシのしげる所でした。江戸の発展にともない、うめたてを行ないました。神社、お寺がうつり、とうじの大きな産ぎょうである材木ぎょうが深川に集中し、木場が造られました。関東大しんさい、第二次世界大戦では、多くのひ害を受けました。大きな工場や、小さな町工場ができてさかえる一方、じばんちんか、空気・川のごれなどの、公害問題も出てきました。



わたしたち住む街の地形や土地利用、商店街や集落分布の様子がわかります。人々の生活は、自然環境と密接に関わっていることが理解できます。地図に親しむことで位置や地形をより広範囲に関連させて考える習慣が身につきます。記号をつかって絵地図に表現したり地図を読みとる力を養うことができます。